

二重焦点レンズ

バイフォーカルレンズは、上部と下部の2つの異なる光学パワーを持っています。通常、レンズのこれらの2つのセグメント間には、光学パワーに大きな違いがあります。

上部のセグメントは遠距離視用で、下部のセグメントは近距離視用です。二重焦点レンズの問題点は、黒板を見たりコンピュータを使ったりするときに、眼鏡の上部にある遠距離視用の部分を使用することです。

ですから、コンピュータを使うときは、遠くの物体を見ているかのようにまっすぐ前を見ることになります。しかし、実際には近くのコンピュータ画面を見たいわけです。そのため、上部を遠距離視用、下部を近距離視用に使うのは問題があるかもしれません。

完璧な遠近両用メガネというのは、目がかすかに見たいものをはっきり見えるようにするものではないと思います。通常の生活に適応し、物をはっきり見るために、2、3組のメガネを用意する方が良いでしょう。そうすることで、時間の経過とともに近視を改善できる可能性があります。

しかし、よく考えてみると、もし自分用の二重焦点レンズを設計するとしたら、上部セグメントを175度減らし、下部セグメントを200度減らしたいと思います。これにより、上部セグメントはパソコン使用に最適で、下部セグメントは本を読んだり携帯電話を使ったりするのに完璧に使えるようになります。ですから、ある意味では、二重焦点レンズの概念は革新的です。それを発明した人々は近視の仕組みを理解していましたが、完全には理解していなかったのです。